

馬路村立馬路小中学校 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標

レベル	小学校1・2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年
Listening	日常生活の中で見聞きする身近でごく簡単な事柄について、絵やジェスチャーを手がかりに、外国語を聞きわけようとする。	ア ゆっくりまたは何度も繰り返してはっきりと話されれば、絵などの視覚的補助やジェスチャーを手がかりに、動物、スポーツ、色、数など、言ったり聞いたりしたことや日常生活で体験的になじみのあるごく簡単な内容に関する語句の意味聞き取ろうとする。	ア ゆっくりまたは何度も繰り返してはっきりと話されれば、絵などの視覚的補助やジェスチャーを手がかりに、動物、スポーツ、色、数など、言ったり聞いたりしたことや日常生活で体験的になじみのあるごく簡単な内容に関する語句の意味聞き取ろうとする。	ア ゆっくりはっきりと話されれば、気分や好み、人の名前、行事や誕生日、料理、値段など自分のことや日常的でなじみのある内容に関する語句の意味や基本的な表現を聞き取ることができる。	ア ゆっくりはっきりと話されれば、好きなことやできることを含めた自己紹介、世界で活躍する日本人など、自分のことや身近で簡単な事柄で日常的でなじみのある内容に関する簡単な語句の意味や基本的な表現を聞き取ることができる。
		U3・U7	U2・U4・U5	U1・U2・U6	U1U2U3
		イ ゆっくりまたは繰り返してはっきりと話されれば絵などの視覚的補助やジェスチャーを手がかりに、名前、気分、好み、欲しい物など、言ったり聞いたりした日常的で体験的になじみのあるごく簡単な内容に関する基本的な表現を聞き取ろうとする。	イ ゆっくりまたは繰り返してはっきりと話されれば絵などの視覚的補助やジェスチャーを手がかりに、名前、気分、好み、欲しい物など、言ったり聞いたりした日常的で体験的になじみのあるごく簡単な内容に関する基本的な表現を聞き取ろうとする。	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日付、曜日、時刻、位置と場所、学校生活、教科、第三者ができることなど言ったり聞いたりした日常的でなじみのある内容に関して、具体的な情報を聞き取ることができる。	イ ゆっくりはっきりと話されれば、住んでいる町・地域の将来、夏休みの思い出など、日常的でなじみのある内容に関して、具体的な情報を聞き取ることができる。
		U4・U7・U8・U9	U3・U7・U8・U9	U3・U5	U4
	ウ ゆっくりまたは繰り返してはっきりと発音されれば、アルファベットのどの大文字の読み方が発音されているか認識しようとする。	ウ ゆっくりまたは繰り返してはっきりと発音されれば、アルファベットのどの小文字の読み方が発音されているか認識しようとする。	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、行ってみたい地域、一日の生活あこがれの人など日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を聞くことができる。	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、オリンピック・パラリンピックで観たい競技、中学校生活の予定など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を聞くことができる。	
	U6・U8	U6	U4・U7・U8	U5・U6	
Reading				ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。
				U1・U2・U3・U4・U5・U6・U7・U8	U1・U2・U3・U4・U5・U6・U7・U8
				イ 音声で十分に慣れ親しんだ数、動物、色、果物、曜日など簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	イ 音声で十分に慣れ親しんだスポーツ、基本的な動き、状態や気持ちを表す語、季節などの簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。
			U1・U2・U3・U4・U5・U6・U7・U8	U1・U2・U3・U4・U5・U6・U7・U8	
やり取り	音をまねながら周りの人と簡単なあいさつをかわしたり、たずねられたことにジェスチャーやごく簡単な単語を使って応じようとする。	ア 相手がゆっくり、はっきりまたは繰り返して話してくれれば、名前を告げたり出会うと別れのあいさつを交わしたり、感謝したり、ごく短い指示に応じたりしようとする。	ア 相手がゆっくり、はっきりまたは繰り返して話してくれれば、ごく簡単なあいさつを交わしたり、感謝したり、ごく短い道案内をしたり、遊びに誘ったり、依頼に応じたりしようとする。	ア 相手がゆっくり、はっきりまたは繰り返して話してくれれば、基本的な表現を用いて、場所や位置を指示、依頼をしたりそれに応じたりすることができる。	ア 相手がゆっくり、はっきりまたは繰り返して話してくれれば、基本的な表現を用いて、発表の際の着眼点を指示、依頼をしたりそれに応じたりすることができる。
		U1	U1	U5	U1
	イ 自分が言いたいことを表現するのにサポートがあれば、好きな色、数、食べ物、形など、自分のことや身の回りの物に関する日常生活で体験的になじみのある事柄について、動作を交えながら自分の考えや気持ちなどをごく簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。	イ 自分が言いたいことを表現するのに補助してくれるなどのサポートがあれば、好きな生活時間、学校の場所など、自分のことや身の回りの物に関する日常生活で体験的になじみのある事柄について、動作を交えながら自分の考えや気持ちなどをごく簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。	イ 自分が言いたいことを表現するのにサポートがあれば、行事、誕生日、学校生活、教科など日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合おうことができる。	イ 自分が言いたいことを表現するのにサポートがあれば、住んでいる町・地域の将来、夏の思い出など日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合おうことができる。	
	U2・U5・U7	U2・U5	U1・U2・U3	U4	

Speaking	発表	ウ サポートを受けて、欲しい物の形、サイズ、数、自分の名前などの紹介など、自分や相手ごと及び身の回りの物に関する日常生活で体験的になじみのある事柄について、ごく簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりするようにする。	ウ サポートを受けて、相手に勧めたいオリジナルメニューなどについて、自分や相手ごと及び身の回りの物に関する日常生活で体験的になじみのある事柄について、ごく簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりするようにする。	ウ サポートがあれば、自分や相手の行ってみたい国、料理や値段など、自分や相手ごと及び身の回りの物に関する事柄について簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	ウ サポートがあれば、職業・将来の夢など、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができる。
		U3・U8	U4・U7・U8	U4・U6・U7・U8	U2・U6
		ア 果物、野菜、動物、食べ物など身の回りの物について、人前で実物などを見せながらごく簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	ア おすすめの道具箱など身の回りの物について、人前で実物などを見せながら簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。
		U6・U9	U6	U1	U3U5
		イ 動物、色、スポーツなどの好き嫌いなど、自分のことについて、人前で実物などを見せながらごく簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	イ 自分の好きな曜日についてなど、人前で実物などを見せながら簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	イ 日本文化や小学校6年間の思い出など自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。
U4	U3	U3・U7	U7		
ウ 友だちとのあいさつや自分の体調や様子を伝えるなど、日常生活で体験的になじみのある内容について、人前で実物などを見せながらごく簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	ウ 一日の生活の流れを説明するなど、日常生活で体験的になじみのある内容について、人前で実物などを見せながら簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	ウ 前もって用意された内容で、中学校生活や将来の夢など身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。		
	U9	U4・U8	U8		
Writing		ア 大文字・小文字を活字体で書くことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。	ア 大文字・小文字を活字体で書くことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。	ア 大文字・小文字を活字体で書くことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。	ア 大文字・小文字を活字体で書くことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
		U4	U1・U2・U3・U4・U5・U6・U7・U8		
		イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。	イ 日本の文化、職業・将来の夢など自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。		
		U8	U7・U8		

★学習指導要領解説より★
「関心のある事柄」 →身の回りのことで、生徒が共通して関心をもっていること(スポーツ、音楽、映画、テレビ番組、学校行事、休日の計画、日常の出来事など)
「日常的な話題」 →生徒の日々の生活に関わる話題のうち、生徒自身や家族に関すること、生徒の興味・関心の対象となることや社会生活で必要なこと
「社会的な話題」 →社会で起こっている出来事や問題に関わる話題のことであり、広く国内外で起こっている事象で、多様な考え方ができるようなもの(エネルギー問題や環境問題など)
「聴きたい読んだしたこと」 →そうした話題に関する教師や生徒の発話、映像や音声の教材、ニュースや新聞記事、図表、ポスター、電子メールなど、様々な音声媒体や文字媒体による情報や考え
*具体例は領域ごとに異なるので、新学習指導要領解説を参照 *小学校高学年では「身近で簡単な事柄」